

# TESOL

Diploma in Teaching English to Speakers of Other Languages



TESOLは母国語を英語としない人に対し、英語を使った英語教授法を学ぶコースである。

このプログラムの目標は、学生とより良い関係を築き、実際の教育現場において通用する、より効果的な授業マネージメントを行うための方法を導き出すことである。

指導する生徒がネイティブ、またネイティブでない場合においても必要とされる、多分野での適切な英語教授能力の育成に焦点を当てている。

# TESOL

## CELLA TESOLプログラムの要点

- ▶ 実用的な演習が基盤-カリキュラムは実用的なコミュニケーションの演習に基づいている
- ▶ 英文学を勉強している人のために特別に設計されたカリキュラム
- ▶ 将来英語指導職を目指している人に最適

## 学習成果

- ▶ 効果的な計画と指導方法を得ることができる
- ▶ 英語を教えるための実用的なスキルを身につける
- ▶ 自信を持ち、授業をうまく運営する力を身につける
- ▶ 言語意識と言語分析の構成の向上
- ▶ 継続的な専門教育の構造を学ぶ

【修了証発行先】コンコルディア国際大学

【学業期間】4週間



# CELLA



Concordia International College

### Student Academic Record (Official Transcript)

Transcript of Student Number: C-00026 Name: Jeongwon Heo Date of Birth: June 3, 1989	Course/Program Name: TESOL (120 hours) Diploma Program Study Period: June 19, 2017 - July 17, 2017 Date of Issue: July 7, 2017
---	---

Course Number	Title	Credit	Score	Grade	GP
FTE 101	Fundamental of Teaching English	3	95	A+	4.33
ELT 102	English Language Teaching	3	91	A	4.00
Earned Credits Hrs: 6		GPA Hrs: 120	GPA:	Excellent Performance	

Transcript Total			
Total Institution:	Hrs	GPA Credit Hrs	GPA
Total Institution:	120	6	4.17
Total Transfer:	0	0	0
Overall:	120	6	4.17

Student Status Graduated Diploma in Teaching English to Speakers of Other Languages	School Administrator
---	----------------------

GRADING SYSTEM USED [Letter Grad: Definition, Grade Point]	
A+, A, A-: Excellent Performance 4.33, 4.00, 3.67	B+, B, B-: Good Performance 3.33, 3.00, 2.67
C+, C, C-: Satisfactory Performance 2.33, 2.00, 1.67	D: Marginal Performance 1.00
F: Unsatisfactory Performance 0.00	
A+: 95-100 A: 90-94 A-: 85-89 B+: 80-84 B: 75-79 B-: 70-74 C+: 65-69 C: 60-64 C-: 55-59 D: 50-54 F: 0-49	
S: Satisfactory U: Unsatisfactory T: Transfer IP: In Progress W: Withdrawal	

THIS TRANSCRIPT IS OFFICIAL ONLY IF:  
1. It is printed on security paper with the school mark.  
2. No evidence of erasure is present.  
3. It bears the embossed seal of the College.

# TESOL

## TESOL の方法論と言語分析

- ▶スピーキング、ライティング、リーディング、リスニング、文法、発音、言語機能、言語形式の指導
- ▶授業の計画と評価
- ▶授業で使用する教材の評価と開発
- ▶英語の授業の管理運営
- ▶異なる学習スタイルとモチベーションの理解

## 教育実践

- 4回の模擬授業を行い、それに沿ってTESOL専門の講師が教授法の指導を行う。
- 受講生の指導スキルを成長させるために設計された教育的観点からのフィードバックと評価を受ける。
- TESOL専門の講師と授業計画を立て、効果的な授業を準備する方法を学ぶ。

【修了証発行先】コンコルディア国際大学

【開始日】(下記日程を参照)

2022 – 無し

2023 – 料金表に表示 (年12回開始予定)

【期間】4週間

【入学条件】IntermediateもしくはTOEIC 700点以上 / 電話インタビュー (TOEIC, TOEFL, IELTSの試験成績を持っている生徒も電話または学校内のスピーキングテストを受ける必要がある)



週	月曜日 授業のマネジメント	火曜日 スキル	水曜日 言語分析	木曜日 言語教授	金曜日 ピアティーチング
1	自分自身の活動を知る  授業のマネジメントとは	リーディングの 模擬授業	一般英語[リスニング] (事前に指導する語彙も 準備)	一般英語 文法の模擬授業	ピアティーチング 受容的スキル (中級レベルのコー スブック 「New Cutting Edge」の読解) の評価
	DVDの鑑賞 授業のマネジメント 方法を中心に	受容的スキルの 授業分析 (リーディング)	言語とは？ 内容とMPF (Meaning, Pronunciation, Form)	模擬授業の分析	
	DVDのフィードバック と効果的なタスクの 設定1	リーディングに おける副次的能力と タスクの種類	文法の ワークショップの分析	概念の確認の質問の 書き方 (CCQs)	
	タスク設定のためのワ ークショップと 用語のレビュー	リーディングスキル のワークショップ、 実際の「もの」を使 って説明		意味を確認する 他の方法とCCQの ワークショップ	
2	自分の活動を知る	リスニングの 模擬授業	一般英語、[語彙] [動詞と名詞の 組み合わせ]	一般英語のデモ授業[ 生徒が本当に理解 しているかのテスト を行い、指導する]	ピアティーチング (中級レベルの コースブック 「New Cutting Edge」を使用した 語彙について)の 評価
	効果的なタスクの 設定2	受容的スキルの 授業分析 (リスニング)	語彙: 内容& MPF	診断テスト、不正解 箇所の説明、本当に 理解したかのテスト の進め方	
	生徒に積極的に話を させる方法とワークシ ョップの実践	リスニングにおける 副次的能力とタスク の種類	語彙ワークショップの 分析	語彙を引き出し 説明する方法	
	生徒を授業に積極的に 参加させる方法	リスニングスキルの ワークショップ、 実際の「もの」を使 って説明	ワークショップの間の生 徒の反応をみて、生徒が もっと授業に参加する 方法を考える、または 一般英語のグループ作業	語彙のためのMPFを 引き出す方法と ピアプラクティス (生徒同士での練習)	
3	自分のタスクを知る	ライティングの 模擬授業	一般英語 [言語機能]	一般英語 [テキストからの 文法]	ピアティーチング (テキストベース の言語の授業)の 評価
	一般英語 [リスニング]	生産的スキルの 授業分析 (ライティング)	音韻 [音素チャート]	テキストベースの 言語文法授業分析	
	相互作用表現	ライティングの 副次的能力、 ライティングの 間違いのチェック、 タスクの種類を知る	音韻学 [緊張音、イントネーシ ョンと連続発音]	言語をより正確に 教えるための練習	
	タスクの設定	実用的な言語と計画 とピアティーチング のワークショップ	音韻のワークショップ  説明とイントネーション	補足資料から 強調箇所を学ぶ	
4	自分のタスクを知る  一般英語 [緊張音と質問形式]	スピーキングの 模擬授業	一般英語 [言語機能の模擬授業]	一般英語 [CCQsと誤りの訂正 に焦点を当てた過去 の形式]	ピアティーチング の(スピーキング) の評価
	タスクの設定、記録、 フィードバック	生産的スキルの 授業分析 (スピーキング)	言語機能の紹介	言語教授のDVDの 鑑賞	
	より多くの記録とフィ ードバック	スピーキングの 授業の種類	言語機能のためのMPF の分析 (Meaning, Pronunciation, Form)	意味の確認に焦点を 当てる	
	ワークショップ・設定	実地的な表現を学ぶ	コンテンツスペースの例を	全ての分野での	

# TESOL

---

## 専門用語集

これらは、これからこのコースで出くわすであろういくつかの主要なコンセプトの要約である。

- ❖ **正確さ / 流暢性:** 流暢に話すことに焦点を当てることよりも、言語を正確に理解することの方が**実用性**があることもあり、その逆の場合もある。
- ❖ **目標:** 受講生が授業の間で達成することを望むもの。
- ❖ **明確化:** 授業内で語彙に関して、意味、発音、言語形成の観点から学生により明確に理解をさせる。
- ❖ **概念問題(Concept Questions: CCQs):** 言語項目の意味に焦点を当てた質問
- ❖ **文脈:** 言語項目は独立して存在しない。文脈はテキスト、クラス内での会話等で見つけられる。用語の意味や使い方を明確にするために、また、典型的に使用される方法を指導するために、その用語を用いた文脈の例を作り、学生により分かりやすく理解させる。
- ❖ **演習:** しっかりと対策された口頭練習(発音、イントネーション等)を行う。生徒は教師の後に言葉を繰り返す。個別に練習をする前に教師は手本を最初に見せる。
- ❖ **復唱:** 生徒が言ったことを復唱する。これは目的のある「認識」の復唱 (間違いがあることを分からせるため)、または、「無意識の」復唱 (自分の言ったことを理解させるため)の2種類に分類される。
- ❖ **誘発:** 生徒に授業にもっと関わってもらうためのテクニック。これは、説明することによって生徒に知識を与えることよりも、生徒が発言することを誘導することによって言語を引き出すことである。
- ❖ **流暢性:** 100%正確な英語を話しているかという過剰な心配をせずに自然に話す。
- ❖ **語学を学ぶ授業:** 主な目的が文法、語彙、または言語機能である授業。
- ❖ **語彙形式:** 語彙、用語について指導する。

# TESOL

- ❖ **音韻論:** 音素、イントネーション、単語のアクセント、文章のアクセント、リズム、連続発音を学ぶ。
- ❖ **演習:** 生徒に学習したことを使う機会を与える。
- ❖ **関係性:** 授業内での生徒との関係の質を高める。
- ❖ **ロールプレイング:** 生徒はスピーキングの練習をするためにキャラクターを演じたり、与えられた情報やアイデアを使う。
- ❖ **スキヤニング:** 特定の情報の項目を見つける事を目的としたリーディング。
- ❖ **スキル:** 講師はリスニング・リーディング(受容的スキル)、ライティング・スピーキング(生産的スキル)、の4つのスキルについて指導する。
- ❖ **スキミング:** テキストの一般的な意味や要点を理解する目的で、素早く読み上げるリーディングの方法。
- ❖ **段階:** 授業は通常順序立てられて1つの授業として構成される。この順序をつなげると、完璧な授業を作ることに役立つ。
- ❖ **STT(Student Talking Time, 生徒が会話をする時間):** 授業中に生徒が話す時間を多く設ける。
- ❖ **学生中心の活動:** 教師が中心とならない活動。学生にペアかグループで作業をさせることができる。この機会を最大限に活用することは生徒が積極的に話す事ができる良いアイデアである。
- ❖ **教師主導の活動:** 教師がクラス全体をリードしている活動。教師主導の量を最小限に抑えることは良いアイデアである。
- ❖ **TTT (Teacher Talking Time, 教師が話す時間):** 授業中に教師(受講生)が話す時間。

